

# (一社) 日本臨床耳鼻咽喉科医会

## 令和3年度定時代議員会 議事録

開催日時：令和4年5月25日(水) 11:00~17:00

開催場所：神戸ポートピアホテル 地下1階 布引・北野・偕楽

代議員数：94名(定足数48名)

出席代議員数：91名(有効な委任状を含む)

出席役員：会長(代表理事) 福與和正

副会長 浅井英世、川寄良明、藤岡治

理事 麻生伸、石谷保夫、稲村直樹、猪原秀典、大島清史、大橋一博

杉山貴志子、中川尚志、中澤宏、永田博史、野上兼一郎、吉村理

監事 伊東祐久、岩佐英之

欠席役員：理事 阿部博章

議事録作成者：総務担当副会長 川寄良明

開会に先立ち、定款第5章第19条により会長 福與和正を議長と定め、議長より出席者数並びに委任状の点検が行われた。出席者66名、有効な委任状25通、合わせて91名の出席で、代議員総数94名の過半数となり、定款第5章第21条、第22条の規定により本代議員会は成立していると認められ、議長から開会が宣言された。

定款第25条3項に従い、議長より議事録署名人に兵庫県の塩見洋作代議員、大分県の吉村弘之代議員の2名が指名され、議事に入った。

### 【報告事項】

各担当理事より提出資料に沿って、次の通り報告を行った。

1. 令和3年度事業報告(川寄良明理事)
2. 令和4年度事業計画(大橋一博理事)
3. 令和4年度収支予算(稲村直樹理事)

### 4. 質疑応答

#### 1) 埼玉県：登坂薫代議員

臨床医会は今まで日耳鼻が行っていた事業を替わりに行ってもいるが、その分日耳鼻は補助金または委託金のようなものを出してはくれないのか？

#### 福與和正会長より

二十数年日耳鼻がやってきた仕事は本来臨床医会の仕事だったもので、それが臨床医会に戻ったからといって補助金が支払われることはない。その代わりに事務所の一部費用を肩代わりしてもらったり事務用品を使わせ

てもらったりしている。

2) 広島県:明海国賢代議員

令和4年度の収支予算で旅費交通費他が50万円減ったが、事業に支障は無いのか？

稲村直樹理事より

これは令和3年度の実績から通常通り事業が行われた場合を想定して、学術のみが医会セッションを担当するため100万の増額、その他は出費が少なかったために減額しており事業を抑えるわけではありません。

3) 静岡県:足立昌彦代議員

運営を会費のみで運営するのは厳しく、臨床医会で何か売り上げの出る事業は行わないのか？

稲村直樹理事より

この2年間はコロナ禍では新規事業を立ち上げるのは難しかった。今後追々考えたい。

福與和正会長より

会員に会費に見合う対価としてお渡しする成果が下がらないよう、今後会費を上げることや新しい収益を上げる事業を始めることも考えたい。

その他、特に発言はなく、報告事項1から3は承認された。

【決議事項】

第1号議案 令和3年度貸借対照表および正味財産増減計算書並びに監査報告の件  
稲村直樹理事、伊東祐久監事より説明があり、議場に諮ったところ、全員一致で賛成、承認可決された。

第2号議案 令和4・5年度役員選任の件

定款の規定により、理事及び監事の全員が本代議員会終結と同時に任期満了となるため、役員選挙規程第3条により設置された役員候補者選出委員会 村塚幸穂委員長より理事・監事立候補者名簿、ブロック推薦理事候補者名簿及び略歴を4月20日に全代議員へメール送付し、役員選挙規程第16条の手続きに基づき選出された理事及び監事候補者について説明した。

議長が議場に諮ったところ、候補者全員について、全員一致で賛成し、下記のとおり選任が承認可決された。

なお、出席した被選任者はその就任を承諾した。

記

理事 再任 福與和正、川寄良明、杉山貴志子、中澤宏、藤岡治、吉村理、永田博史  
麻生伸、阿部博章、石谷保夫、野上兼一郎

新任 朝比奈紀彦、川島佳代子、小泉達朗、高原哲夫、香取幸夫、守本倫子

監事 再任 岩佐英之  
新任 浅井英世

以上で、議事をすべて終了し、令和3年度定時代議員会が閉会となった。

以上の決議を明確にするため、本議事録を作成し、議長及び議事録署名人が次に記名押印する。

令和4年5月25日

一般社団法人日本臨床耳鼻咽喉科医会代議員会

議長 会長 福與 和正

議事録署名人 塩見 洋作

議事録署名人 吉村 弘之